

<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20131118-00010000-fukui-118>

三原じゅん子女性局長ら、えちぜん鉄道視察 自民党の中小企業対策

福井新聞ONLINE 11月18日 10時54分



自民党の松本洋平青年局長、三原じゅん子女性局長ら（左から）が、えちぜん鉄道福武線の列車内を視察している。三原局長（右）が、乗客の様子を確認している。

自民党の松本洋平青年局長、三原じゅん子女性局長らが17日、福井県を訪れ、開業10年を迎えたえちぜん鉄道を視察した。地域鉄道再生の全国モデルとされる取り組みに関心を寄せた。

党の「日本を元気にする国民運動」による全国の中小企業視察の一環。両局の北陸信越ブロック会議に合わせて役員の国会議員4人が訪れ、えち鉄三国芦原線の福井―田原町駅間を乗車した。

廃線の危機にあった路線を引き継ぎ、事業者と行政、沿線住民の連携で乗客数を伸ばした経緯について、見奈美徹相談役から説明を受けた。アテンダント配置など独自のサービスにも触れた。

三原局長は視察後、取材に対し「ただの運輸業ではなくサービス業として、人と地域を結び付けている。われわれも地域の声を聞く力を高めていきたい」と語った。松本局長も「地域を元気にするヒントを実感した」と述べた。一行は、田原町駅からの乗り継ぎで福井鉄道福武線も視察した。

福井市内で開かれたブロック会議では、各県連の青年・女性局員ら約80人と来年の活動方針などを話し合った。

福井新聞社